

令和4年度 **サケ**の観察日記

No.4

(令和5年) 3月2日

動物園のサケたちが、力強く群れて泳ぐようになりました。そんな中で、こちらを向いて近寄ってくるのは、エサを期待しているサケたちです。



3月22日

附属旭川幼稚園さんで育てているサケたちも、十分大きくなったので、26日に川へ放すことになりました。自然界は厳しいので、今のうちにしっかりエサを食べておいて欲しいです。



3月23日

事務局で育てているサケの平均の体重は0.8g、全長は4.8cmになりました。ただ、成長の遅れているサケは、まだお腹が開いたままで“さいのう”と呼ばれるオレンジの栄養袋が残っています。



そのため、お腹が重くて上手に泳げません。大きくなっていく仲間のサケに負けず、元気に動き回っていますが、自然の川で生き残るために、もっと泳げるようになって欲しいと、祈るような気持ちで毎日観察しています。

3月26日

附属旭川幼稚園さんが育ててくれていたサケたちが、園児たちの手で大きな川へと放されました。これからは自分でエサを見つけて生きていかなければなりません。無事に海に出られますように。数年後に、大きくなってこの旭橋に戻ってきますように。成長を見守っていた子供たちも、名残惜しそうに見送っていました。

